

大人の方用瘡の虫出しについて（注意点とその方法）

今日は、瘡の虫出しでも大人の方の場合の方法を書き記します。

初めに大人の方の瘡の虫出しは、次のような注意が必要だと思います。

翌日に大事な商談など控えている場合は、しないほうが良いと思います。

翌日に遠出などで、車やバイクを運転する場合なども、控える方がいいでしょう。

小林正観さんも著書の中で、書いておりましたが、自分もまったく同じようなことを経験しました。生まれて初めての場合は、注意が必要だと思います。

では、弘祥の体験談を一つ。

自分は、青信号で止まりかけまして、幸い後ろから来る車はなかったので良かったのですが…。今でも不思議ですが、信号を見ていたのに、嫁さんや子達ら家族に

「青やでえ、おとん、 危ないやん、何、しゃーるん？」

助手席の長男には「目、開けてるんかあ？」 「寝てるんかあ？」って言われて、「うん」「ええ、ああ、そうやねえ」とか言ってあわてて、車を走らせたことがありました。決して、居眠りでもありません。

青信号を見ていたのに…です。 本当に不思議な経験ですが…。

ですので、自分がさせていただいた治療により、大人の方の瘡の虫が出てきた場合は、次の日の予定等を聞いて対処しております。

翌日に大事な所用がある場合は、土曜日など次の日がOFFの日を選びまして改めて瘡の虫出しをします。

また、虫がすでに 出てしまった場合は、ご本人に注意を伝えております。

大人の方の瘡の虫出しの方法

- キッチンペーパーをいつでも、取り出せるよう目の前に用意する。
- まず、小皿などに一つまみの塩を用意する。塩は、出来れば、自然食品店などの天然塩を用意する。
- 石鹸を用意してぬるま湯（冷たい水では、緊張して出にくくなるため）の流水でよく手を洗う。左右の掌をすりあわせて指と指の又の間の水かきの名残の部分や指の関節やその側面、手の甲や指の背など念入りに洗う。（1分間 ）
- あらかじめ用意していた、天然塩を濡れたままの手でつかみ取り石鹸の時の要領で左右の掌をすりあわせて同じように指と指の又の間の水かきの名残の部分や指の関節やその側面や手の甲や指の背など念入りにすり込む。
- 塩が出来ればぬるま湯の流水で良く流し、キッチンペーパーで水気を拭き取る。
- 手を思い切り握り込んで、掌が上になるように前に突き出す。（ちょうど、鉄棒の逆上がりの要領）
- 3分後、静かに握り込んでいた指を広げると、指に埃がついているように見えたり明らかに伸びてきたりして瘡の虫が、出てきます。イライラの少ない人などは瘡の虫も少ないか、ほとんど出ないかのいずれかです。
- 出て来た瘡の虫はセロテープ、ビニールテープ等できっちり取り除くこと。
出した瘡の虫をそのままにすると、それを吸った周りの人がイライラを起こして怒りっぽくなりますので、そのところは、どうぞ、よろしくお願いします。

芝下鍼灸整骨院 芝下 弘祥（裕章）

熊野・紀宝町の芝下鍼灸整骨院の疝（かん）の虫出し のページには、氣を使って
実際に出したお子さん方の疝の虫の画像とその体験談をお寄せ下さった御家族の皆様
の「声」が載っています。

どうぞ、御覧いただければうれしいです。

<http://shibashita-arigatou835.com/kannomushidashi.html>